

令和7年度

「運営に関する計画」(最終評価)

大阪市立加美南部小学校

令和8年3月

大阪市立加美南部小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、素直で子どもらしさにあふれる児童が多い。しかし、自ら進んで意欲的に学習したり、物事を正しく判断して行動したりする面に課題がある。また、不登校や遅刻、登校しても集団になじめない児童も見受けられ、家庭との連携を含めた学習指導と生活指導の充実が不可欠である。

学力面では、習熟度別少人数指導や校内授業研究等を通して、指導方法の工夫や研究の充実を図っているが、基礎・基本の定着が十分とは言えず、今後も授業改善に取り組むとともに、ICT機器を活用した学習保障等にも力を注いでいく必要がある。

情緒面では、「自己肯定感」や「自尊感情」が低く、自分の良さや自分らしさに自信を持ってない児童が多い。学校生活のあらゆる機会をとらえて、豊かな心を育てるための様々な方策を考え、自他を尊重する心の育成を図りたい。

体力面では、校舎改築で運動場の使用が数年間にわたり制限されたこともあり、令和3年度の全国体力・運動能力・運動習慣等調査では、男女ともほとんどの種目で全国平均を下回る結果となった。児童の総合的な体力・運動能力向上をめざし、年間を通して様々な取り組みを行い、運動習慣の定着を図っていききたい。

中期目標

【安全・安心な教育の実現】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 毎年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「仲の良い友だちがいる」の項目について、肯定的に答える児童の割合を92%以上にする。
- 令和7年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、自分からあいさつができています」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、令和3年度よりも向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、令和3年度よりも増加させる。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、令和3年度よりも2ポイント向上させる。

- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 全国学力・学習状況調査の「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を毎年向上させる。
- ゆとりの日を、週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を80%以上にする。
- 令和7年度の学校保護者アンケートにおける「学校のできごとを学校だより、学年だより、学校ホームページなどで伝えている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を85%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の実現】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を81.3%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
令和6年度：1.13%（4名）
- 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を87.8%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「仲の良い友だちがいる」の項目について、肯定的に答える児童の割合を97.0%以上にする。
- 令和7年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、自分からあいさつができています」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を93.2%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を42.0%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72.7%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を84.6%以上にする。
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的に答える児童の割合を90.0%以上にする。

○令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、前年度よりも向上させる。令和6年度：男子 48.3 女子 48.4

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]

○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を95.83%以上にする。

○令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を78.8%以上にする。

○令和7年度の学校保護者アンケートにおける「学校のできごとを学校日より、学年日より、学校ホームページなどで伝えている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を96.1%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の実現】

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を81.3%以上にする。

令和7年度：75.3%：目標を達成できなかった（中期目標：未達成）

○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

令和6年度：1.13%（4名）

令和7年度：2.07%（7名）：目標を達成できなかった（中期目標：未達成）

○小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を87.8%以上にする。

令和7年度：85.6%：目標を達成できなかった（中期目標：未達成）

○令和7年度の学校児童アンケートにおける「仲の良い友だちがいる」の項目について、肯定的に答える児童の割合を97.0%以上にする。

1学期末：94.3% 2学期末：96.8%：目標を達成できなかった（中期目標：達成）

○令和7年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、自分からあいさつができています」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を93.2%以上にする。

1学期末：94.7% 2学期末：92.2%：目標を達成できた（中期目標：達成）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、令和3年度よりも向上させる。

3年 R3：100.1 → R7：96.3

4年 R3：102.3 → R7：96.0

5年 R3：99.9 → R7：97.8

6年 R3：97.6 → R7：98.9

（中期目標は達成できなかった）

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を42.0%以上にする。

令和7年度：36.8%：目標を達成できなかった（中期目標：未達成）

○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72.7%以上にする。

令和7年度：72.2%：目標を達成できなかった

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を67.2%以上にする。

令和7年度：64.8%：目標を達成できなかった。（中期目標：未達成）

○令和7年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的に答える児童の割合を90.0%以上にする。

1学期末：91.3% 2学期末：91.9%：目標を達成できた（中期目標：達成）

○令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、前年度よりも向上させる。令和6年度：男子 48.3 女子 48.4

令和7年度：男子 48.4 女子 47.2

男子は達成できたが、女子は達成できなかった（中期目標：未達成）

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]

令和7年度：23.6%：目標を達成できなかった

○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を95.83%以上にする。

令和7年度：82.14%：目標を達成できなかった

○令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を78.8%以上にする。

1学期末：78.2% 2学期末：79.9%：目標を達成できた（中期目標：未達成）

○令和7年度の学校保護者アンケートにおける「学校のできごとを学校だより、学年だより、学校ホームページなどで伝えている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を96.1%以上にする。

1学期末：97.3% 2学期末：97.1%：目標を達成できた（中期目標：達成）

○全国学力・学習状況調査の「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を毎年向上させる。

（中期目標は達成できなかった）

○ゆとりの日を、週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。

令和5年度以降は目標通りに設定している（中期目標：達成）

今年度、大阪市教育振興基本計画における3つの最重要目標（①安心・安全な教育の推進、②未来を切り拓く学力・体力の向上、③学びを支える教育環境の充実）の達成に向けて取組を

進めた結果、全市共通目標および学校園の年度目標について、①が5項目中1項目、②は5項目中1.5項目、③は4項目中2項目において目標を達成することができた。中期目標については、①が5項目中2項目、②は5項目中1項目、③は4項目中2項目において目標を達成することができた。

「安心・安全な教育の実現」については、「仲の良い友だちがいる」「子どもたちは、自分からあいさつができています」の項目において、肯定的に答える児童の割合が高かった。これは、人権教育や多様な体験学習による「豊かな心の育成」、児童会が中心となった仲間づくりの取り組み、また、生活指導部会の定期的開催と職員会議での共通理解、「生活指導強調週間」を設定して学校全体で取り組んだことによる成果だと考える。

「未来を切り拓く学力・体力の向上」については、基礎学力の確実な定着と学力の向上をめざし、授業研究に取り組んだ。今年度も国語科を研究教科に定め、教材分析会と研究授業を行うことで授業力の向上を図った。学力向上支援チーム事業を活用して『『分かる』ことを教える『読むこと』の学習指導』に取り組む、児童を主体的・対話的で深い学びに導くことができた。体力の向上に関しては、児童が自発的に運動に取り組めるよう体育的行事を工夫した。運動に親しむ機会を日常的に設定したことが、運動好きな児童の増加、二極化の減少に繋がっている。

「学びを支える教育環境の充実」については、学習用端末の授業での活用や「心の天気」の日常的な入力定着しつつあり、達成率の向上に繋がった。「学校のできごとを学校だより、学年だより、学校ホームページなどで伝えている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合が昨年よりも更に向上し、97%を超えた。学校ホームページの日々更新によって学校生活を詳細に伝えていることが大きいと考える。

達成できなかった目標に目を向けると、①では不登校児童の状況の改善、②では「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の肯定的回答率の向上、③では超過勤務時間の削減などが課題として残っている。今年度の結果を分析し、「よりよい加美南部小学校」づくりに向けて、新たな学校運営の目標を設定し、長期的な視点で取り組みをすすめていきたい。

大阪府立 加美南部小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の実現】</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を81.3%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 令和6年度: 1.13% (4名)</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を87.8%以上にする。</p> <p>○令和7年度の学校児童アンケートにおける「仲の良い友だちがいる」の項目について、肯定的に答える児童の割合を97.0%以上にする。</p> <p>○令和7年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、自分からあいさつができています」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を93.2%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての児童にとって、安全で安心な教育活動を推進する。 安全教育、防災・減災教育を推進する。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活指導部会(月1回)を実施し、各学年の状況を把握し、対策について話し合う。 交通安全教室、防災体験学習などの取り組み(年2回以上)を実施する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣として、あいさつ、きまりや時間を守ることを、清掃の大切さなどの定着を図る。 互いの違いを認め合い、自他を尊重する態度を育成する。 すぐれた芸術にふれる機会や社会見学等の機会をつくり、豊かな心の育成を図る。 	B

指標

- ・「生活指導強調週間」(各学期1回)等を充実させることで、学校のきまりを守る児童の割合を90%以上にする。(事後アンケートで検証)
- ・児童会を中心に「あいさつ運動」(各学期1回)、「美化点検」(年30回以上)を実施する。
- ・人権にかかわる体験学習(全学年:年1回)、教職員研修(年1回)等を実施する。
- ・「芸術鑑賞会」(年1回)や社会見学等の体験活動(全学年:年1回以上)を実施する。

中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を81.3%以上にする。
令和7年度:75.3%:目標を達成できなかった(中期目標:未達成)
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
令和6年度:1.13%(4名)
令和7年度:2.07%(7名):目標を達成できなかった(中期目標:未達成)
- 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を87.8%以上にする。
令和7年度:85.6%:目標を達成できなかった(中期目標:未達成)
- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「仲の良い友だちがいる」の項目について、肯定的に答える児童の割合を97.0%以上にする。
1学期末:94.3% 2学期末:96.8%:目標を達成できなかった(中期目標:達成)
- 令和7年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、自分からあいさつができています」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を93.2%以上にする。
1学期末:94.7% 2学期末:92.2%:目標を達成できた(中期目標:達成)

取組内容①

- ・今年度は、学級担任以外に専科および習熟度担当の教員を低・中・高学年に1名ずつ配置し、特別支援教育担当教員のみならず、各種サポーターや生活指導支援員、学生ボランティア等が児童の支援を行える体制をとることができた。より多くの目で見守ることで、安全で安心な環境で教育活動を実施できている。
- ・生活指導部会を毎月実施して各学年の状況や対策について話し合い、職員会議で伝達することで、課題を共有することができた。
- ・5月12日(月)を「いじめについて考える日」および「いのちについて考える日」に設定して全校集会を行い、各学級で「いじめ」や「命の大切さ」について考える機会を設けた。
- ・4月22日(火)に1年生を対象に防犯教室、5月15日(木)に2・4年生を対象に交通安全教室を警察と連携して実施した。
- ・5月24日に土曜授業で火災避難訓練と災害時の引き渡し訓練、10月28日(火)に消防署区役所と連携して全学年で防災訓練、12月1日(月)に不審者侵入対応避難訓練、1月16日(金)に地震・津波の避難訓練を実施した。
- ・6月19日(木)と7月15日(火)に、5・6年生を対象に大阪府少年サポートセンターと連携して非行防止教室、1月26日(月)に薬物乱用防止教室を実施した。

取組内容②

- ・「生活指導強調週間」【1学期：6月23日（月）～6月27日（金）、11月4日（火）～11月7日（金）、2月16日（月）～2月20日（金）】を実施し、校内の安全な歩行、優しい言葉かけ、時間を守るなどの意識を高めることができた。
- ・児童会が中心となって「あいさつ運動」を行い、あいさつの意識化を図ることができた。
【1学期：6月2日（月）～6月6日（金）、12月1日（月）～12月5日（金）、1月26日（月）～1月30日（金）】
- ・芸術鑑賞として劇団ポプラによる「オズの魔法使い」、社会見学での様々な体験活動、地域の方から学ぶ「茶道教室」「絵手紙教室」、多文化共生教育を計画通りに実施し、豊かな心の育成を図ることができた。

今後の改善点

- ・不登校気味の児童や家庭に対して、関係諸機関と連携しながら対策を講じ、状況を改善できるよう働きかけていく。
- ・消防署や区役所、地域と連携しながら防災・減災教育を進め、大災害に備えていく。

大阪府立 加美南部小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を42.0%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72.7%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を67.2%以上にする。</p> <p>○令和7年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的に答える児童の割合を90.0%以上にする。</p> <p>○令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、前年度よりも向上させる。令和6年度：男子 48.3 女子 48.4</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別少人数指導やTTにより、個に応じたきめ細やかな指導を行う。 ・校内研究を通して指導力の向上を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざす。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の公開授業を年間15回以上実施する。 ・教育指導員等を指導要請し、研究授業（年6回）・研究協議を実施する。 	B
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策をはじめ、安全・安心な校内環境、教育環境づくりに努め、自主的な健康管理及び規則正しい生活習慣の態度を育てる。 ・体育的行事や「体力づくりにつながる遊び」を充実させて、運動習慣の定着と児童の体力向上を図る。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に、教職員による校内環境の安全点検・衛生管理等を実施する。 ・「救急救命」、「食物アレルギー対応」等の教職員研修を年1回以上実施する。 ・「保健だより」、「えいようだより」を月1回発行し、家庭（保護者）への啓発をすすめる。 	B

- ・ドッジボール大会、かけあし週間、なわとび週間等の体育的行事を工夫して、運動に親しむ機会を設定する。

中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、令和3年度よりも向上させる。

3年 R3：100.1 → R7：96.3

4年 R3：102.3 → R7：96.0

5年 R3：99.9 → R7：97.8

6年 R3：97.6 → R7：98.9

(中期目標は達成できなかった)

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を42.0%以上にする。

令和7年度：36.8%：目標を達成できなかった(中期目標：未達成)

- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72.7%以上にする。

令和7年度：72.2%：目標を達成できなかった

- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を67.2%以上にする。

令和7年度：64.8%：目標を達成できなかった。(中期目標：未達成)

- 令和7年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的に答える児童の割合を90.0%以上にする。

1学期末：91.3% 2学期末：91.9%：目標を達成できた(中期目標：達成)

- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、前年度よりも向上させる。令和6年度：男子 48.3 女子 48.4

令和7年度：男子 48.4 女子 47.2

男子は達成できたが、女子は達成できなかった(中期目標：未達成)

取組内容③

- ・習熟度担当、特別支援教育担当、各種サポーター、学生ボランティア等が授業に入り込み、個に応じたきめ細やかな指導が行われている。3年生以上の国語と算数については習熟度別少人数指導やTTを行い、3年生では音楽専科、4年生以上は理科専科による専門性の高い授業を行っている。
- ・校内研修計画に基づいて研究授業を全学年で実施し、公開授業を19回行った。また、学力向上支援チーム事業のスクールアドバイザー定期訪問を活用して、教材分析会やメンター研修などを実施し、教員の指導力の向上を図ってきた。校内研究組織の基盤が整ってきている。

取組内容④

- ・5月28日(水)、12月3日(水)、2月16日(月)に安全衛生委員会を実施した。
- ・美化点検(石鹸補充等)を、健康委員会が週に1回行っている。
- ・6月3日(火)、消防署と連携して「救命救急講習」を実施した。

- ・定例の食育推進委員会で、「食物アレルギー対応」について共通理解を図っている。
- ・「保健だより」「栄養だより」を毎月1回発行したり、「健康習慣」を設けたりすることで、健康への関心を高めている。
- ・かけあし週間、なわとび週間等の体育的行事を実施することで、休み時間に自主的に運動をしよとする児童の姿が増えた。

今後の改善点

- ・学力向上の取組みが、R7小学校学力経年調査やR8全国学力・学習等状況調査の結果に反映するよう、今後も校内研修を充実させる。
- ・自主性を重んじた体力向上の取組みが、運動の習慣化や二極性の解消につながるよう、今後も工夫・改善していく。

大阪市長 加美南部小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]</p> <p>○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を95.83%以上にする。</p> <p>○令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を78.8%以上にする。</p> <p>○令和7年度の学校保護者アンケートにおける「学校のできごとを学校日より、学年日より、学校ホームページなどで伝えている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を96.1%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容⑤【基本的な方向6 教育DX (デジタルトランスフォーメーションの育成)】</p> <p>・ICT (学習用端末) を活用した教育の推進を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・「心の天気」や授業、家庭学習等で、1日1回は学習用端末を児童が使用する。</p>	C
<p>取組内容⑥【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>・行事の精選や会議の効率化など働き方改革を進め、時間外勤務時間の減少を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を91.67%以上にする。</p>	C
<p>取組内容⑦【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>・学校図書館の整備 (蔵書の整理、データベース化等) に努めるとともに、児童の学校図書館を活用した学習・読書活動を推進する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・学校図書館の整備 (蔵書の分類・整理、データベース化等) をすすめる。また、学校図書館の開館数、来館児童数を増やす。(年間300回以上の開館)</p>	A
<p>取組内容⑧【基本的な方向9 家庭・地域との連携・協働した教育の推進】</p> <p>・学校で行っている教育活動の内容を保護者や地域にしっかりと伝え、地域学校協働活動を推進する。</p>	A

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校だより」と「学年だより」を毎月発行し、長期休業中と休日以外は、学校ホームページを最低でも1日に1回以上は更新する。 	
<p>中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]</p> <p>令和7年度：23.6%：目標を達成できなかった</p> <p>○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を95.83%以上にする。</p> <p>令和7年度：82.14%：目標を達成できなかった</p> <p>○令和7年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を78.8%以上にする。</p> <p>1学期末：78.2% 2学期末：79.9%：目標を達成できた（中期目標：未達成）</p> <p>○令和7年度の学校保護者アンケートにおける「学校のできごとを学校だより、学年だより、学校ホームページなどで伝えている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を96.1%以上にする。</p> <p>1学期末：97.3% 2学期末：97.1%：目標を達成できた（中期目標：達成）</p> <p>○全国学力・学習状況調査の「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を毎年向上させる。</p> <p>（中期目標は達成できなかった）</p> <p>○ゆとりの日を、週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。</p> <p>令和5年度以降は目標通りに設定している（中期目標：達成）</p> <p>取組内容⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業等での学習用端末の活用、「心の天気」の日常的な入力習慣化されつつある。年間を通しての目標は達成できなかったが、12月と1月の月間達成率は目標値を超えている。 <p>取組内容⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事の見直しや精選、業務のスリム化を図る中で、ここ数年は学校全体の時間外勤務時間は減少していたが、今年度に入ってから増加傾向にあり、基準1を満たす教職員の割合が減っている。 <p>取組内容⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館司書と連携して、館内を整備したり開館数を増やしたりするなど、読書活動の推進を図ってきた。平野区内の小学校22校中で「ひらちゃん読書ノート」の到達者数は第4位、到達率は第3位であり、取組みの成果が表れてきている。 <p>取組内容⑧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校だより」と「学年だより」を毎月発行し、教育活動の内容を保護者や地域に伝えている。学校だよりについては、校外掲示板への貼付、地域各町会への配布を毎月行っている。 ・私物端末での児童撮影が禁止となったことにより、学校ホームページのリアルタイム配信はできなくなったが、毎日欠かさずに教育活動の詳細を発信している。 <p>（今年度の更新回数は、2月26日現在で811回）</p>	

今後の改善点

- 全学級で日常的に学習用端末の活用が行えるよう学校全体で取り組む。
- 働き方改革の目的を理解し、超過勤務時間の削減を図ることで、教職員が児童と元気に向き合える環境づくりをめざす。